

令和元年度学長戦略経費（重点分野研究プロジェクト）進捗状況報告

（令和 2 年 3 月）

報告者氏名・所属	森谷康文（函館校・准教授）	
研究プロジェクトの名称	地域変化に関する住民意識の国際比較 函館・道南地域とカナダ大西洋沿岸地域を中心に	
プロジェクト担当者 （氏名・所属・職） ※代表者に●を付すこと	ラモス ハワード（ダルハウジー大学人文社会科学部社会学・社会人類学科・教授） ●森谷康文（函館校・准教授） 古地順一郎（函館校・准教授） 中村直樹（函館校・講師） 藤井麻由（函館校・講師）	
研究プロジェクトの概要等（期間全体）		
<p>急速な少子高齢化や人口減少、若者の流出、労働力不足、中心市街地の衰退、外国人観光客の増加、北海道新幹線の開業、宿泊業における外国資本の流入、外国人住民の増加など、函館・道南地域には大きな変化の波が押し寄せている。本研究では、函館・道南地域の住民がこの変化をどのようにとらえているかを明らかにする。住民意識を明らかにすることで、今後の地域づくりや政策を考える上でのデータを提供できる。</p> <p>また、函館・道南地域の状況をグローバルな文脈で位置づけるため、カナダ大西洋沿岸地域との国際比較も行う。カナダ大西洋沿岸地域は、少子高齢化、若者の流出、人口減少、人口減少対策としての積極的な移民受け入れ政策、グローバル経済での地域経済のあり方など、函館・道南地域と同様の地域課題を抱えている。このような背景を踏まえ、ダルハウジー大学のラモス教授を中心とした研究チームが、既に4都市における住民意識の調査を行っており、その成果も発表されている（Perceptions of Change Project: perceptionsofchange.ca）。本研究は、その実績を踏まえて、函館・道南地域との比較を試みる。</p>		
進捗度	3	←番号を記入 1.順調に進んでいる 2.ほぼ順調に進んでいる 3.やや遅れ気味 4.遅れ気味
<p>標本抽出に対する予算が不足し、業者に委託することを諦め、プロジェクト担当者がおこなうこととし、現在、市役所の住民基本台帳の閲覧と転記を実施中である。</p>		
研究実績の概要（当該年度）		
<p>ラモス教授との共著による“Beyond economic partnership: How the Hakodate- Halifax case extends the understanding of Sister City Agreements”について、ラモス教授達が行ったハリファックス側の分析に対して、姉妹都市交流に関する函館（日本）の先行研究のレビューをおこなった。これをもとにラモス教授にフィードバックをおこない、次年度早々には投稿の予定である。</p> <p>2019年8月22日 函館での「住民意識調査」の項目精査（古地、中村、森谷） 2019年8月27日 日本における姉妹都市交流に関わる先行研究調査（古地、中村、森谷） 2019年9月12日 ラモス教授によるハリファックスにおける姉妹都市交流に関わる分析について確認、及び日本における姉妹都市研究の文献調査（古地、中村、森谷） 2019年10月31日 函館における「住民意識調査」の項目精査（古地、藤井）、及び日本における姉妹都市研究の先行研究調査（古地、中村、森谷） 2019年12月23日 ラモス教授来日により、姉妹都市交流分析に関する打ち合わせ 2020年1月 市役所と住民基本台帳閲覧 転記に関する打ち合わせ 2020年2月-3月 住民基本台帳標本抽出</p>		

今後の研究プロジェクトの推進計画	
2020年4月 「住民意識調査」調査票郵送作業及び郵送 2020年5月-6月 調査票回収 分析作業	
教育現場や地域で活用可能な成果等	
研究成果の公表実績（当該年度）	
【著書】（著者、書名、出版社、発行年・・・等）	
【学術論文】（投稿中も含む） （著者、表題、雑誌名、巻・号、発行年、頁・・・等）	
【学会発表、シンポジウム、セミナー、演奏会、展覧会、競技会、普及啓発イベント等】 （名称、開催年月日、開催場所、参加者数・・・等）	
【テキスト、報告書、研修資料等】 （名称、発行年月日、発行部数、配付場所、配布者数・・・等）	
添付資料	
ダウンロード可能な ドキュメント	
関連URL	
問い合わせ先	氏 名：森谷康文 電 話：0138-44-4305 E-mail：moritani.yasufumi@h.hokkyodai.ac.jp